

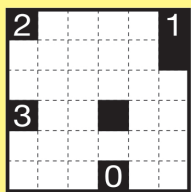
# 今号の大盛り 「シャカシャカ」 を解くために

今号ではP.14から「シャカシャカ」というパズルがたっぷり遊べます。  
このページで基本的な解き方をご紹介します。

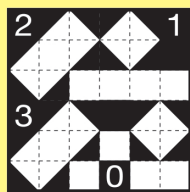
## 一言でいうと

いくつかのマスを三角形に黒くぬって、ぬられずに残った白い部分をすべて長方形（正方形）にするパズルです。

●例題●



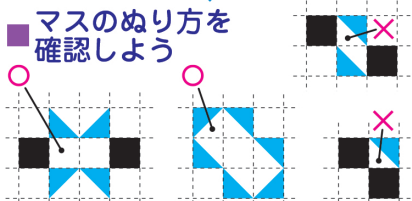
●答え●



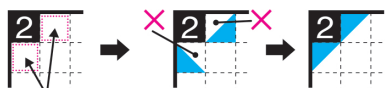
## ルールはこちら

- ① 盤面のいくつかの白マスに三角形に黒くぬりつぶしましょう。
- ② マスのぬり方は、 の4通りのいずれかです。
- ③ 盤面の数字は、その数字の入っているマスにタテヨコに隣り合うマスのうち、三角形にぬるマスの数を表しています。
- ④ ぬられずに白く残った部分は、すべて長方形（正方形も含む）にならなければなりません。

## マスのぬり方を確認しよう



盤面の白い部分は、傾いていない長方形（正方形）か、斜め45度傾いた長方形（正方形）のどちらかになります。それ以外の形ができてはいけませんよ。



三角形にぬられる

数字のまわりに注目して、三角形にぬられるマスが見つかったら、白い部分が長方形（正方形）になるように三角形の向きを決めます。

## 例題を解いてみよう

### ●例題●

まずは盤面の端にある1、2、3に注目して、三角形にぬられるマスをぬってしましましょう。3の右隣のマスは三角形にぬられますが、この時点ではまだ三角形の向きは確定しません。また、0の隣のマスは黒くぬらないマスなので、・印などのメモを残しておくとうわかりやすいですよ。



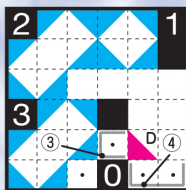
### ●途中経過1●

①と②のグレーの線はどちらも傾いた長方形（正方形）の一部ですが、①と②がくっつくとも長方形（正方形）にはなりません。そのため、AとBのマスを右図のように三角形にぬるしかありません。右下の角にあるCのマスは、どのようなぬり方をしても白い部分が長方形（正方形）にならないので、三角形にぬられないマスだとわかります。・印を書いておきましょう。



### ●途中経過2●

盤面左上の長方形が完成すると3の右隣のマスの三角形の向きも決まり、右図の状態まで進みます。次の手がかりは0のまわりにあります。③と④の線はどちらも傾いていない長方形（正方形）の一部ですが、③と④がくっつかないためには、Dのマスを上図のように三角形にぬるしかありません。



### ●答え●

マスを三角形にぬるというルールが独特で、はじめは難しく感じるかもしれませんが、慣れてくると軽快に手が動くパズルです。見事最後まで解き切ると、シャカシャカならではの美しい完成図があなたを待っていますよ。

